

令和6年度 美術 各単元（題材）における観点別の評価基準

2 学年

|      | 指導計画及び指導内容   | 各観点における評価基準  |  |   |
|------|--|--|--|---|
|      |  | 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
| 1 学期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の美意識</li> <li>日本の伝統模様</li> <li>伝統模様と文字との構成</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統模様を取り入れた美しいデザインを創意工夫して表現をすることができる。</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>表現方法を理解し、作品完成をイメージしながら構想を練ることができる。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統的な表現方法に関心を持ち、文化の良さや美しさに関心を持つことができる。</li> <li>伝統模様の美しさに気づき、関心を持って、作品の制作に取り組むことができる。</li> </ul>                  |
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>塑像（招き猫）</li> <li>伝統工芸について</li> <li>装飾や色彩による表現の違い</li> <li>招き猫の制作</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な素材を選びながら正しく成形や装飾が行え、作品を美しく仕上げることができる。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>素材の特性と手づくりのよさを生かして、個性的で実用的な形や色を計画し、構想することができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統工芸の歴史や表現の特色などを理解し、生活の中のデザインや工芸に関心を深めることができる。</li> <li>伝統工芸作品を鑑賞し、それぞれの作品の特徴や良さを感じ取りながら取り組んでいる。</li> </ul>      |
| 2 学期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>皮革工芸（レザークラフト）</li> <li>皮革工芸の歴史</li> <li>製作過程と用具の使い方</li> <li>染色と仕上げについて</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統工芸や民族工芸のすぐれた点や技術を理解し、皮革工芸の制作を計画的に正しい用具の使い方で行われる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>材質や機能にあった個性的な作品を求めてアイデアを練り、計画的に表現活動が行える。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>工芸作品の材料の長所や短所を知り、鑑賞活動を通して作品制作への興味、関心を高めている。</li> <li>皮革工芸のそれぞれの作品に見られるすぐれた点や苦心のあとを理解し、自らの作品制作に生かしている。</li> </ul> |
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>デザイン（イラストを描く）</li> <li>アイデアスケッチ</li> <li>表現を広げるための工夫</li> <li>イメージに合った色彩</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>表現方法や配色に工夫をしながら、創造的に美しく表現することができる。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマに合わせたデザインを考えることができ、構想を練りながら表現することができる。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>多様なものの見方を持って発想し、デザインを工夫しながら、制作への意欲を高めることができる。</li> <li>多様な表現の違いや良さに気づき自分の作品のイメージを創造できている。</li> </ul>             |
| 3 学期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>木彫</li> <li>彫り方による表現の違い</li> <li>木彫レリーフの制作</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>木材の特性を理解し、彫刻刀を正しく扱いながら美しい彫刻ができる。</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>レリーフの表現を理解し、効果的な発想、構想を練ることができる。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>木彫の制作に興味をもち、意欲的に、根気強く取り組むことができる。</li> <li>伝統的な作品の良さを理解し、積極艇に自身の制作に生かしている。</li> </ul>                             |